

無料シャトルバス運行

金石・大野

7/20(土)～9/23(月祝)

上記期間中の(土)(日)(祝)運行

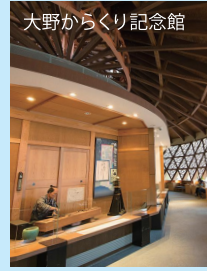
※8/10(土)～18(日)は除く

[金沢駅西口 発着]

レトロなまちなみと、
漁港の風情にふれる小さな旅。

醤油味噌蔵

大野の路地



バス停留所・時刻は裏面をご覧ください。



◎みどりのバスが目印です!

金沢市の沿岸部に位置する金石と大野は、藩政時代から明治にかけて、日本海の物流を担った北前船の寄港地として栄えました。令和元年5月20日「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」に追加認定されました。このほか、建造物や絵画などの構成文化財が、金石・大野に数多く残っています。

北前船板塀

金石・大野 レンタサイクル

7/20(土)～10/6(日) 無料

上記期間中の(土)(日)(祝)実施 10:00～17:30

※8/13(火)～16(金)は実施。8/18(日)はお休みします。

◎お子様(140cm以上)もご利用いただけます。



- A 金沢港いきいき魚市 横
- B 大野・直江屋源兵衛 横
- C 金石・金石駐輪場 横

※8月4日(日)は、大野湊神社夏まつりのためルート変更(裏面参照)

加賀百万石を支えた、ふたつの港町。

金石エリア

海運力に支えられた
まちなみが残る
風情ある港町



創業120年の味噌・醤油醸造元の自家製味噌漬(舟木屋)

中世より海上交通の要所として栄えた金石は、江戸時代には北前船の寄港地となり、城下町金沢の海の玄関口として、外交上重要な役割を担っていました。今でも、当時の廻船問屋や町家、神社、寺院などが多く残り、少し路地を歩けばまるでタイムスリップしたかのような気分にさせてくれます。最近では、金沢名産の伝統味噌にこだわった味噌食堂や魚介類の糠漬けなどの珍味が注目を集め、多くの人が訪れています。

大野エリア

醤油蔵が立ち並ぶ
むらさき香る
アートな港町



歴史ある醤油蔵を改装したショップ&カフェ(直江屋源兵衛)

海運業や漁業で栄えた港町・大野は、江戸時代の初めに紀州から醤油造りが伝わり、今も金沢の美食を支えています。醤油蔵や町家が連なる情緒あるまちなみがあり、おおの大橋からは、大野川や大野灯台、松林、霊峰白山などを見晴らすことができます。最近では、ギャラリーやカフェに生まれ変わった町家や蔵が、大野の新たな魅力として人気を集めています。

無料シャトルバス運行

時刻表

※時刻は、目安です。

	金沢駅西口 団体バス乗降場	① 金沢港 いきいき魚市 横	② 大野 直江屋源兵衛 横	③ 金石 金石駐輪場 横		金沢駅西口 団体バス乗降場
①	10:00	10:20	10:25	10:30	→	10:45
②	11:00	11:20	11:25	11:30	→	11:45
③	12:50	13:10	13:15	13:20	→	13:35
④	13:50	14:10	14:15	14:20	→	14:35
⑤	15:00	15:20	15:25	15:30	→	15:45
				※8/4(日)は通過	→	15:35
⑥	16:00	16:20	16:25	16:30	→	16:45
				※8/4(日)は通過	→	16:35



金沢港いきいき魚市

※8月4日(日)は、大野湊神社夏まつり(金石エリア)のため、15:00以降は金石方面を通らず、大野地内で折り返します。

金石・大野イベント情報

7/27(土)・28(日) 大野日吉神社夏まつり [大野エリア]

夏の訪れを告げる年間最大の神事。「山王祭」と称し、金沢三大祭のひとつに数えられています。

8/2(金)~4(日) 大野湊神社夏まつり [金石エリア]

曳山17基と太鼓台22台が供奉する他、民俗芸能も参加する金沢市無形民俗文化財指定の神事能。

8/25(日) ビーチサン跳ばし世界選手権in金沢2019 [金石海岸]

クリーンビーチ活動の一環。片足に履いたビーチサンダルを飛ばし、3人合計の距離を競います。

9/1(日) こまちなみなーと [大野エリア]

アート&クラフト系のこまちなみマーケットをはじめ、町家や醤油蔵での体験メニューもいろいろ!

9/7(土) 金沢甘エビまつり2019 [かなざわ総合市場]

金沢が日本一の水揚げを誇る「甘エビ」の魅力を伝えるイベントを開催!
※金沢港いきいき魚市向かい

9/8(日) かないわこみち [金石エリア]

まちを散策しながら郷土料理やアート、ワークショップなどが楽しめるイベントです。

